

社協だより

さりげなく、ともに生きる!! 「おもいやりの町、しもすわ」をめざして。

No.177 発行人・石川富造

編集・社会福祉法人下諏訪町社会福祉協議会

介護をひとりで 抱え込んでいませんか？

毎日おじいちゃんのお世話で、
自分の時間が
とれないわ…。
みんなどうやっ
てるんだろう？



認知症が進んで
きたなあ…。
どう介護していけば
いいのかなあ？



それなら!!



家族介護者交流事業に参加してみましよう!!

在宅で介護されている介護者の皆様を対象に、当事者同士の交流や情報の共有、心身のリフレッシュを目的として、日帰り・一泊二日旅行、施設見学などの勉強会、体操教室などを実施しています。(年6回実施)

“がんばる人”ほど、介護を抱え込みがち…。
介護はチームワークが大事。専門家や同じ経験をしている方々の力を借りましょう。
また、ぜひ交流事業に参加して、介護者同士、苦労を分かちあい、楽しくリフレッシュしましょう!!



12月 施設見学 「さわやか 絹の郷 信州おかや」さんを見学



8月 水陸両用バスに乗船

参加のお申し込みは、
社協・生活応援センター
TEL.27-8886 担当：中村 裕二

下諏訪町ボランティア連絡協議会

研修会「元気の花を咲かせます!!」

～ 演芸ボランティアグループ「劇団赤門」～

ぜひ!!
ご来場
ください!!

と き：平成24年3月10日（土）

ところ：下諏訪町総合文化センター 小ホール

研修会：午後2時00分～午後3時30分

公 演：「元気の花を咲かせます!!」

出 演：劇団 赤門

内 容：南京玉すだれ、皿、コマまわし
ハーモニカ、マジック 等

※直前まで、同会場でボランティア連絡協議会総会を開催しております。終わるまでロビーでお待ち頂くことがありますので、ご承知ください



昨年、SBCスペシャルで取り上げられました。

〈劇団赤門の紹介〉

飯田下伊那地方で活動するボランティアグループ「劇団赤門」は、老人福祉施設などで、ハーモニカや大正琴の演奏、マジックなどを披露して喜ばれています。

メンバーは現在22名、平均年齢は76歳!!高齢だが元気いっぱい!!

代表の宮島節男さんは15年ほど前、心筋梗塞で倒れ緊急手術。現在も心筋の一部が壊死したままですが、宮島さんは生き返ったことに感謝して、ボランティア活動をしていくことを決め、大道芸を学び、劇団公演回数は、200回を越えています。

宮島さんいわ曰く、ボランティアとは

「他人にないものをおすそ分けすること」「ボランティアは他人のため、でも自分のため」

あなたのできること、空けられる時間を教えてください!!

ボランティア活動してみませんか？



「自分のことで精いっぱいなのに、とても人のことまではなあ…」とお考えの方もいると思います。

ボランティア活動は、地域のため、人のためと思われがちですが、活動を通して、新たな出会いや仲間ができ、実は、新たな自分を育てていく活動でもあります。

ぜひ、ボランティア登録にご協力ください!!

お問い合わせ：社協生活応援センター 27-8886 中村